様式５（第１７条関係）

**組換えDNA実験終了（中止）報告書**

　　年　　月　　日

|  |  |
| --- | --- |
| 承認番号 注01 |  |
| 実験の区分 注02 | 　□　第一種使用等　　　　　　□　第二種使用等 |
| 　□　微生物使用実験　□　大量培養実験　動物使用実験　　□　動物作成実験　　□　動物接種実験　植物等使用実験　　□　植物作成実験　　□　植物接種実験　　□　きのこ作成実験　□　細胞融合実験 |
| 拡散防止措置の区分 注02 | 　□　Ｐ１　　　　□　Ｐ２　　　　□　Ｐ３　□　Ｐ１Ａ　　　□　Ｐ２Ａ　　　□　Ｐ３Ａ　　　□　特定飼育区画　□　Ｐ１Ｐ　　　□　Ｐ２Ｐ　　　□　Ｐ３Ｐ　　　□　特定網室　□　ＬＳＣ　　　□　ＬＳ１　　　□　ＬＳ２ |
| 公的経費 注03 | 　□　有　　　　　□　文部科学省　　　□　科学研究費　　　□その他　（　　　　　　　　）　□　無 |

|  |  |
| --- | --- |
| 実験課題名 |  |
| 実験実施期間 注04 | 　　　　　　　年　 　月　　から　　　　　　　年　 　月　　まで |
| 実験責任者 | 所属部局等の所在地 | (〒　　　　　) |
| 所属機関 |  |
| 所属部局等 |  |
| 職名 |  |
| 氏名 |  |
| 連絡先 | 電話 |  |
| ファックス |  |
| E-mail | ＠ |
| 実験場所 | 所在地 | (〒　　　　　) |
| 名称　（部局・棟名等） |  |

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 実験従事者（学生・大学院生含む。）注05 | 氏名 | 所属機関 | 所属部局等 | 職名（学年） | 健康診断 注06 | 教育訓練 注07 |
|  |  |  |  | □ | □ |
|  |  |  |  | □ | □ |
|  |  |  |  | □ | □ |
|  |  |  |  | □ | □ |
|  |  |  |  | □ | □ |
|  |  |  |  | □ | □ |
|  |  |  |  | □ | □ |
|  |  |  |  | □ | □ |
|  |  |  |  | □ | □ |
|  |  |  |  | □ | □ |
|  |  |  |  | □ | □ |
|  |  |  |  | □ | □ |
|  |  |  |  | □ | □ |
|  |  |  |  | □ | □ |
|  |  |  |  | □ | □ |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 供与体・ベクター・宿主の組み合わせ 注08 | 核酸供与体 注09 | 供与核酸の種類と名称等注10 | ベクター 注11 | 宿主等 注12 | 保有動植物等 注13 | 拡散防止措置の区分 注14 | 備考 注15 |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 組換え体の保存の有無及びその保存目的・方法 注16 | 　□　有　　　　　□　無（「有」の場合，保存方法並びに保存目的） |
| 保存する組換え体の形態・特性 注17 |  |
| 作製・使用した組換え体の概要及びその処分方法 注18 |  |
| 実験従事者の健康状態等 注19 |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 安全主任者の確認 | 所属部局等 |  |
| 職名 |  |
| 氏名 | 　　 |

終了（中止）報告書記入要領

**各記入欄について，以下の注の指示により記入の必要が無い場合には，空欄とせず必ず「該当無し」等と記入すること。**

注01．既に発行されている承認番号を記載すること。

注02．本計画において該当する項目すべてにチェックを入れること。なお，動物作成実験及び植物作成実験とは，組換え動植物の**使用及び作成**を意味する。したがって，組換え動植物を使用するのみでも作成実験となる。

注03．公的経費の有無について該当項目にチェックを入れるとともに，ある場合はその種類を記入すること。

注04．申請時（又は変更時）に承認を受けている実験実施期間を記載すること。

注05．本研究に従事した全ての実験従事者を記入すること。

注06．本年度内に，一般定期健康診断並びに特別定期健康診断を受診した者にチェックを入れる。

注07．本年度内に，実験責任者から組換えDNA実験に係る教育訓練を受けた者にチェックを入れる。

注08．核酸供与体，ベクター，宿主等の**組み合わせ毎に番号，直線，罫線等でまとめ，**相互の関連を明らかにすること。

注09．核酸供与体となる生物の種名，系統名等を記載すること。

注10．ゲノムDNA，相補DNA，合成DNA等の種類や名称等を記載すること。

注11．ベクターの名称を記載すること。なお，ウイルスはベクターとして用いる場合であっても宿主として扱われるので，宿主等の欄に記載する。

注12．宿主名を記載すること。ウイルスをベクターとして用いる場合は，この欄にウイルス名を記載する。

注13．遺伝子組換え生物等を保有させている動物，植物及び細胞等の種名，系統名を記載すること。

注14．各実験段階毎に，実験を実施する間に執る拡散防止措置の区分を記載すること（P1-B1等）。

注15．以下の事項を簡潔に記載すること。

 1) 認定宿主ベクター系を用いる場合にはそのレベル

 2) 各実験段階における主な目的（組換えDNA作出、培養細胞への接種等）

注16．組換体の保存の有無についてチェックを入れ，保存する場合は，保存方法並びにその保存目的について記載すること。

注17．保存する組換え体が有る場合，その形態並びに特性について（毒性のある場合はその旨）記載すること。

注18．本実験において作製・使用した組換え体の概要並びにその処分方法について記載すること。

注19．実験従事者の健康状態について異常又は特筆すべき点がある場合に記入すること。